

（一社）栃尾青年会議所

創立50周年記念事業

9月8日(日)

式典会場

栃尾市民会館大ホール

祝賀会会場

長岡市栃尾産業交流センター
おりなす てまりホール

JCI



TM

（一社）栃尾青年会議所広報誌

小 城

編 集 発 行 者
（一社）栃尾青年会議所
事務局総務広報委員会
長 岡 市 谷 内 2-5-9
栃尾秋葉門前商工プラザ 2F
栃 尾 商 工 会 内
TEL 0258(52)4191
http://tochio-jc.dum.jp/
E-mail jc@tochio.net
編 集 (株) 中 央 印 刷

理事長挨拶



一般社団法人栃尾青年会議所
二〇一九年度 第五十二代理事長

松生 健太

日頃より一般社団法人栃尾青年会議所の活動にご理解、ご協力、ご参加いただき誠にありがとうございます。

下半期を迎え一言ご挨拶をさせていただきます。

さて、私たちの活動では、これからメイン事業の開催が近付いて参りました。第48回JCSスクールでは、創立50周年記念講演会と題し、元K-1世界王者、魔裟斗様を講師としてお招きし、人生一回く格闘技から学んだことと題し、現在準備を進めております。詳細につきましましては、当会ホーム

ページやフェイスブックなどでも告知させていただいておりますので、閲覧していただければ幸いです。当日は多くの皆様より御参加いただけることを心よりお待ちしております。

また、9月8日には創立50周年記念式典並びに記念祝賀会を開催致します。栃尾青年会議所の創立以来歴史を創り続けてこられた先輩諸氏、また私たちを支えて下さった関係各所へ心から感謝し、更に歴史を繋いで行くことをお誓いする場として、メンバー一丸となり準備設営に取り組んで参

ります。

そして私たちは、栃尾地域の明るい豊かな社会の実現に向け、共に活動していただける同志を必要としております。栃尾地域に住まいをお持ちの方、又はお勤めする20歳から40歳までの青年の皆様、栃尾青年会議所という学び舎で共に成長しませんか。

最後になりますが、今後とも私たちの事業へのご理解ご協力をお願い申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

50周年を迎えて

シニアクラブ会長 佐藤 一男

1969年（昭和44年）

中島達夫初代理事長他46名の会員で産声を上げた栃尾青年会議所も、令和元年、松生理事長のもと（一社）栃尾青年会議所として、50周年という節目を迎えられました事を心より共に祝いたいと思います。「過去から現在、そして未来」へと紡ぐ、その使命こそ我々心を同じくする者に課せられた義務であると改めて感じております。

私たちシニアクラブ全員が、現役メンバーの良き理解者として、出来る限りの協力は惜しみません。

今しかできない事を力の限り悔いのないJCLライフを送っていただけますよう、ご期待いたします。



特別対談

元県会議員 西川 洋吉氏

理事長 松生 健太



松生健太理事長（以下、松生）
西川洋吉さん、本日はお忙しい中ありがとうございます。まず本題に入る前に今年の4月末までの約40年間勤められた市議会から県議会の活動お疲れ様でした。お聞きしたいのですが市議に初めてご当選されたときは1979年くらいでしたでしょうか？

西川洋吉元県会議員（以下、西川）
最初に当選したのは昭和54年なので1979年になります。

わらぬ形で先輩諸兄への感謝に繋がるような事業にしたいと思っておりますので今後ともよろしく願っています。

では、本題に移らせていただきますが、本年度、私たち（社）栃尾青年会議所は喜びをスローガンに、地域の皆さんに心から喜んでいただけるような事業構築を行い、私たち自身も会議所活動に喜びをもつて日々邁進しようと言う事を軸に活動をさせていただいておりますが、西川さんは現役時代に地域のために活動する事の何に喜びを感じておられたかお聞かせ願っています。

松生.. 実は、昭和54年は私自身生まれた年になりまして、非常にめぐり合わせを感じました。また現役時代には、当青年会議所の新年会や各周年事業にもご参加いただきありがとうございます。本年度は当会が50周年と言う事で変

西川.. 私が市議会に出馬する頃はオイルショックでバブル経済が崩壊し、世の中が変わつてきた時で、特に地方の方では今後どうなるのかと言った心配もありました。私自身、農業で頑張ろうと言う意欲はあまりなかったんですが、昭和36年9月16日の第二室戸台風で、当時の栃尾市でも甚大な被害がありました。菅畑から大川戸、栃堀方面の水田でも多くの被害が発生し、災害共済金を受けるために稲を刈り取る前の

現地調査は大変でした。私も二眼レフカメラで撮影したり、被害調査や復旧工事の申請等の手伝いをさせられました。農業基本法の成立の年でもあり耕運機などの農業機械が普及し始めた事もありまして、農道や田んぼの整備を誰かれとなく口にする様にはなつたんですが、実現には至りませんでした。市役所や農協へ相談させていただいたんですが、様々な事情があり難しい状況が続き、あきらめムードが強くなった事もありましたが、昭和44年の農免道路誘致の話をチャンスとしまして、関係集落全体で盛り上がりを見せたものの歩調が合わず、菅畑単独で猛運動を行い共同施行と言うグループを昭和47年につくり事業に入りました。その後、大川戸地区が完成しましたが、政権交代により新規事業は見送りととなり、事業費も当初の計画より半減されたものの、中山間地域総合整備業として昨年10月栃堀方面もようやく完成いたしました。菅畑の圃場整備は市議会に入る前

原点であります。昭和54年おかげさまで市議に当選させていただきましたが、当時各地域では圃場整備はもちろん、上下水道、ガスの供給や道路改良などの生活環境整備、学校の統廃合、福祉問題、地場産業の振興、中心商店街の活性化、等々とにかく努力することによりがいを感しました。我々

地方議員と言うのは、自分を応援してくれる有権者の方々に地域の課題を解決するために背中を押されるわけですから、私はそういう事のためにやるんだ、と言う思いでやってきました。その中で町部にも村部にも通じているところが、除雪の問題になります。除雪については皆さんも分かる通り、国道・県道の除雪と市道の除雪では、同じ道路ではあるけれど多少差があり、市民の間でも色々な指摘があつたりもします。そう言つた地域要望を政治と言う形の中で、それこそ市民力と言いますか、地域の力で実現する事に喜びを感じていました。そういった想いは青年会議所の皆さんも同じではないでしょうか。

をどのようにして構築していくか、最終的には栃尾がさらに魅力ある地域として地域内外の方々から、さらに愛していただけるようなものを目指し活動をさせていただいております。

西川.. 日本全体での人口減少に伴い若い皆さんが少なくなりました。そんな中、栃尾地域で唯一残っている青年会議所の皆さんが若手の中心団体となつて頑張つておられると思います。そこで昔からの事ではありますが、自分の地域がどのような状態にあるのか、地域を知ると言う事が重要なのではないのでしょうか。いくら理想的なものがたくさんあつたとしても、それを自分の地域に置き換えた時にどれだけできるのか検討していただきたい。そこで私が皆さんに期待するのは、挑戦する勇氣と言いますか、当たつて砕けると言う精神です。最初からこれをやれば100点で成功するなんてことは無いわけなので。昔から30代の時であれば仮に失敗しても「若気の至りだから大目に見てやろう」「元気が余つて失敗してしまつたのだから我慢してやろう」と言つた社会の空気があるのでその時に思い切つてやっていたきたい。40代半ばくらいになつてしまつと「いい歳して何をやってるんだ」と言う事になつてしまいます。

松生.. 私たちも先輩方から非常によく言われるのですが

「失敗を恐れているようでは何もできない、とにかく失敗を考えずに自分のやりたいことをやれ」と教わりました。私自身も自分なりに考えまして、当然失敗を前提には考えたくありませんが、仮に失敗してしまつたとしてもそれを「どのように改善したら次の成功に繋ぐ事が出来るのか」と言う考え方が出来るというのも青年会議所の魅力ある活動の中の一つだと考えております。失敗を成功に繋ぐのは、担当者1人で悩むのではなく、会に所属しているメンバー全員で考えると言った仲間意識が付随してくるとも青年会議所の魅力ではないかと考えます。

西川..やはり会員全体で、みんなが一丸となり進むようなチームワークが重要ですね。

松生..青年会議所の歌の中にも「足なみをそろえて行こうじゃないか」と言った一節があるのですが、私も理事長を務めさせていただくにあたり、JICの宣言文であったり、歌の歌詞などを二つ三つ読み返したのですが、「足なみをそろえて行こうじゃないか」の一節が最も重要なのではないかと感じました。1人が100歩行くのではなく、100人で1歩を進んだ方が会としても非常に円滑な行動になるかと思ひます。

西川..私自身も多くの方からご協力をいただきました。私

の選挙もそうでしたし、今回の統一地方選挙の時も、チームワークが出来なければ成果も出ないわけです。トップに立った方は当然リーダーシップを取つていかなければいけません。そこで私が青年会議所の皆さんに期待しているのは、一般論ではありませんが、商業・農業・工業であったり、各サービス業もそうですが、人工知能がどのような方向に行くのか、商売によっては自分の仕事が無くなつてしまふ心配をしている方もいるかと思ひます。また、私自身後期高齢者ですが、高齢者の交通事故の問題で、自動操縦のような、危険を未然に察知して防止に繋げると言つたものも開発されていると思ひますが、我々高齢者はAIやIOTと言われたところではなかなか理解が出来ないわけです。そういった点で皆さんから先頭に立つていただき、高齢者を含めた地域の市民生活の中で活かされるように頑張つて教えていただきたい。皆さんもそれぞれコミュニケーション能力など勉強される機会があるかと思ひますが、そういった問題に対しての考えをグループで討議をして、一定の方向性が出来たら地域住民や子供たちへ理解を広めると言つた活動も青年会議所の皆さんに大いに期待しています。

松生.. 私たちも青少年育成を軸にした事業を展開させていたしておりますので、子供たちに学校では教えてくれない

ような事を考えながら事業構築をさせていただいております。特に前年度は、JICスクールでお仕事体験を企画し、子供たちから非常に大好評をいただきました。「栃尾にこんなに楽しい仕事の出来る会社があるんだ」と言つた事を子供たちに伝えながら、その子たちが大人になった時に、いかに栃尾地域のために尽くせる人材に成長してくれるかなどを考えながら、今後の活動に生かしていければと思ひます。

それでは次に地域のために何を考え行動するかと言う事で、先ほども申し上げましたが、我々は青少年育成を軸にして活動しております。その他にも栃尾の魅力伝播と言うのも一つの軸として考えておりまして、具体的にどんな事をしているかと言ひますと、例えば今年の遊雪まつりで、そりレースを企

図した際には、地域の魅力をPRしようとする私自身、謙信公祭の甲冑を着て参加させていただいたり、栃尾地域の名前にあやかつたコースにする事で、参加者の皆さんに「栃尾ってこんな地名や川があるんだ」と言うことを知っていただいたり、栃尾の名物である油揚げや日本酒、その他にも菅畑の地鶏などを景品の中に取り入れる事で、お渡しした他の地域の方々に栃尾にある皆さんの美味しさを広めていただければ、と言つたような活動をさせていただいております。西川さんは、先ほど地域の圃場整備を軸に活動されていたと言ひますが、

画させていただいた際には、上杉謙信をPRしようとする私自身、謙信公祭の甲冑を着て参加させていただいたり、栃尾地域の名前にあやかつたコースにする事で、参加者の皆さんに「栃尾ってこんな地名や川があるんだ」と言うことを知っていただいたり、栃尾の名物である油揚げや日本酒、その他にも菅畑の地鶏などを景品の中に取り入れる事で、お渡しした他の地域の方々に栃尾にある皆さんの美味しさを広めていただければ、と言つたような活動をさせていただいております。西川さんは、先ほど地域の圃場整備を軸に活動されていたと言ひますが、

画させていただいた際には、上杉謙信をPRしようとする私自身、謙信公祭の甲冑を着て参加させていただいたり、栃尾地域の名前にあやかつたコースにする事で、参加者の皆さんに「栃尾ってこんな地名や川があるんだ」と言うことを知っていただいたり、栃尾の名物である油揚げや日本酒、その他にも菅畑の地鶏などを景品の中に取り入れる事で、お渡しした他の地域の方々に栃尾にある皆さんの美味しさを広めていただければ、と言つたような活動をさせていただいております。西川さんは、先ほど地域の圃場整備を軸に活動されていたと言ひますが、

西川..農業集落の場合、当時は特に米が農業の中心と言う経営ですね。田んぼに米を作り、傾斜の畑には桑を植えて養蚕、山には植木をして建材や薪炭、と言つた生活が農家の暮らしの三本柱でもありました。栃尾でも染色関係や醸造関係の企業なども石炭の補助材として利用したり、一般の家庭の中には台所で竈に使つたり炭を使った炬燵で暖を取つていた時代もありました。古くは蒸気機関車や川船の燃料にも利用があつたとうかがいました。

松生..今でこそ車社会になり、成人になれば1人1台と言う時代になりましたが、そう考えると、ものすごい進歩だと思ひます。

西川..私は昭和40年から車に乗り始めたのですが、正直に言うとお動車がこんなに普及するとは思ひませんでした。昔は砂利道や田んぼ道がほとんどで、舗装道路自体が少ない時代でした。屁理屈かもしれませんが、「道」と言うのは、アスファルトやコンクリートで舗装されて初めて「道路」になるんだと思ひます。

松生..なるほど。私の祖母の実家が吹谷なのですが、今でも細い田んぼ道がたくさんあり、昔から道として利用されているものなのだと感じました。

西川..昔はバックホーやブルドーザーが無かつたので、ツルハシであつたり鍬で道を付けていたわけですし、水害などの対策として尾根に道を付けたりしていました。高いところであれば、水害の心配もなく、雨が降つても痛まないわけです。しかし、上流の方で雨が降れば当然下流の方に流れて行くわけですから、もし下流で雨が降つていなくても川の水が増水する危険があるわけです。そう言つた経験や土地勘と言ひますか「地域を知る」と言う事がやはり重要なのではないのでしょうか。

松生..確かにそうですね。知らない土地だと分からないわけですから、まず地域の方にアドバイスをいただいて、ようやく



クリアするわけですね。

西川.. 先ほど吹谷の話が出ましたので余談ですが、水害の際、西谷川に吹谷の方から水が流れてくると言う点に疑問に思われる方が大勢いらっしゃると思います。吹谷地内の相当部分は西野侯方面に流れて西谷川に、また栗山沢川は東中野侯から前川に入り西谷川へと流れます。

松生.. 確かに言われてみればそちらの地域は勾配が急な地形になっていますね。赤谷側は比較的ゆつたりした流れですが、逆に西野侯側は崖と言うと語弊がありますが、それぐらい極端な高低差がありますから、そちらに水が流れると言うのもうなずけますね。

西川.. 水道と言う事になると地形的に難もあり、入東谷地内の中には道院にある「かねたたきの池」を水源として水道施設を作り、生活用水として利用されています。

松生.. 黒切田とはまた違うのでしょうか？

西川.. 黒切田と言うのは、小向と赤谷の境界の方になります。

松生.. 私自身、2004(5年くらい)に毎日のように黒切田の水を飲んでいたのですが、この水を飲めば長生きできると聞きました。

西川.. そうですね。胃癌などと言った病気に効果があるのではないかとこのことですね。今でも大勢の方が汲みに来ているのではないのでしょうか？黒切田の水と言うのは瓶の中に3年くらい置いておいても水が腐らないそうです。薬効は体質によつて効く、効かないはあるのでしょうか、それだけ鮮度のいい水と言う事ですね。他に、菅畑にも自然の土層の中から赤い粘土や朱液が出るところがあるのですが、それを原料に習字の添削などに使われる朱液が作られるんです。赤谷も地名的にそういうものが取れたりしたのではないのでしょうか？また、町部の方は鉄分が含まれた水が出るようなところもあると思います。

松生.. 私自身、幼少期に習字を習っていたのですが、そういったものは合成させて作っているものだと思っていました。そういうものが、天然物から作られるのだとお聞きして、計り知れないなと感じました。

西川.. 大量に取れば産業として成り立つのですが、やはりなかなか難しいですね。話は戻りますが、菅畑でも水道が入るまで、山から水を引き、生活用水としていたのですが、昭和39年の新潟地震や、平成16年の中越大地震の影響でだいぶ水脈が変わってしまったようで、従来の20%ほどの湧水しか出

なくなっていました。今年の春も水不足の影響でモリアオガエルの産卵が、例年より遅れていました。

松生.. 確かに、最近ようやくまとまった雨が降りましたが、それまで田んぼが干からびてしまっているのではないかと言うくらい水が不足していましたね。私も仕事柄、頻繁に菅畑や栃堀へ足を運ぶのですが、この時期であの水の量しかないと言うのは初めて見ました。稲作への影響はありましたか？

西川.. やはり影響はありました。しかし、従来のコシヒカリは、6月の半ばごろに田植えをしても、それなりにお米を収穫する事が出来ます。晩植適応性と言つて、遅く植えても適応してくれる品種なんです。栽培技術も上がっていますし、70(80%)の収穫が望めるのではないかと思います。

松生.. やはりお米を育てるのは本当に大変なことなのだと感じました。梅雨の時期には、それなりに丁度良い量の雨が降らないと、農作物にも影響がありますね。

西川.. 栃尾だけでなく全国的な雨不足が続いていますので、反動として様々な予想外のハプニングが起きているのではないのでしょうか？

松生.. たしか昨年も深刻な



水不足に陥り、西谷川の水位も下がり、今までに見たことのないような地面が出て、そこに川の水が見えなくなるくらい雑草が生い茂っていたのを記憶しています。今年は去年ほどの水不足ではないのでしょうか？

西川.. 今年はまだ去年ほどではないと思います。雑草も水温が上がらないと生えてきませんので、最近の気温の低さだと川の水温もまだ冷たいのではないのでしょうか？工事の点から見ると、西谷川の土流の方は砂の多い地層になっていて、水害が起きた際に下流の方へ砂が流れてきてしまうので、下流だけでなく上流も整備をしなくてはいけないわけです。そのすべての工事が一度にできるわけではないので、全体計画の中で優先順位をつけ、どういう風にやっていくかと言うのを決めていかなければいけません。町部にも村部にも関係がある事でしたので栃尾地区の区長さんたちに仲間になっていただき、3年前には西谷地域活性化協議会も作りました。川だけでなく道路の問題や冬季の除雪に関する問題であったりを個々の地域でやるのではなく、地域全体

ですつと共有しながら、そのテーマに沿つてやっていかなければいけないわけですね。流雪溝の管理もそうですが、流雪溝に雪を流す前に屋根の雪おろしをしなければならぬ場合もあると思います。しかしそれも高齢化の影響で非常に難しくなつて来たと思われれます。

松生.. 確かに除雪の問題は深刻ですね。管理となると行政であつたり、消防も絡んできますので難しい状況ではありますね。特に昨年の大雪の際は、流雪溝の管理は非常に大変でした。

西川.. 私はちょうどその時、災害報告があり九州の熊本県に状況視察に行っていました。その夜に、栃尾で道路が洪水になり、床下浸水したところもあるとテレビの全国放送でやっていたと聞きました。私は流雪溝の問題だと分かったのですが、梅雨でもない真冬だったので仲間の県会議員たちはびっくりしていました。

松生.. あれは初めての経験でした。洪水も1日・2日で引かずにはばらく続きましたが、あきらめず何とかなしようという気持ちで、雪に慣れた地域住民は強いと感じました。

西川.. 今回のテーマとは少し外れますが、例えば、流雪溝の雪が順調に流れて行くには、下流へと向かう西谷川の水位が

重要になってくるわけですね。西谷川の対岸の土砂を取り除いて川の幅を広げれば夏場の洪水にはプラスになりますが、水位が下がってしまうと、寒気の影響で水量の落ちる冬場は、雪が詰まって流れにくくなってしまうわけですね。そう言ったことが非常にジレンマですね。雪が詰まってしまうと、そこにバックホーを入れて雪をどかさなくてはいいなくなってしまうのです。そういった点で、行政の河川管理と、谷内通りの流雪溝の管理や床下浸水の防止対策などの問題に、上流と下流、右岸と左岸の皆さんが、協調しながら共通認識のもとチームワークを取ってやらなければならぬと言う事ですね。

松生..なるほど。それは、流雪溝も同じことですね。適度な水量がないと雪が流れず、昨年のように水が溢れてしまいうわけですから。

西川..10年くらい前であれば問題なかった事かもしれませんが、近年は高齢化の問題も相まって、朝に除雪車が残していく軒先の雪の除雪が、スムーズにいかなくなってきたりと言いうのもジレンマですね。解決に至る名案がありませんかね？

松生..近年は高齢者だけの世帯も増加の一途をたどっています。しかし、状況によっては何とかしなくてはいいけない問題ですね。

西川..そうですね。もし青年会議所さんの会員が大勢いけば、ボランティア組織を作って、そう言ったことも出来るのかもと思いますが、それもなかなか難しいと思います。冬の生活をすすめるうえでの約束事を旧栃尾市の時代に作ったのですが、そう言ったことも勉強しながら、皆さんの新しい発想で考えていただきたい。やはり冬の暮らしをどうするかと言うのも、栃尾地域の最大の課題ですからね。

松生..やはり地域柄として、雪は必ず向き合わなければならぬ自然現象ですからね。

西川..今から30年前の話ですが、国道290号に沿った流雪溝の流れが悪くなったため雪がくっつかない様に塗料を塗る計画し、国に申請をしました。しかし道路は国道であれば国の財産、県道であれば県の財産、市道であれば市の財産なわけですから「個人が自分の屋根の雪や土地の雪を公共の財産に捨てて、さらに流れが悪くなったから直してくれ」と言う理屈が通ると思いますか？」と言われ、唖然としました。国の担当者からすれば承知の上だったわけで、地元の方の言った事情も分かるけれども、どういった形で協力してやるかという事をもっと研究しましう、と言うのが前提だったわけですね。

松生..私たちの日常生活の裏で、良くも悪くもいろいろな議論がされているんですね。しかし、こうして生活させていたいていますので、地方議員の皆様には本当に感謝しなければいけない事だと思います。

西川..新しい時代になってくると、自分の地域の事とかか国の一般的な事だとかをある程度熟知いたうえて、発想を転換しながら提案をしたりすると言うのが、若い皆さんの英知だと思います。

松生..これからも取り組まなければならぬ様々な問題が起これると思いますが、まずは地盤を知って知識を得たうえで、そう言った活動に取り組むことも非常に大事だと感じました。では、私たち若い世代に求められるものは何かと言う事で、失敗を恐れずに突き進んでほしいと先ほどの西川さんのお話の中でもおっしゃっていたと思いますが、最後、私たちにメッセージがあればお聞かせいただきたいです。

西川..昔から「読書百遍意自ずから通ず」と言うことで何回も読んでいけば自然に意味が分かったといった言葉がありますが、皆さんが読み、理解して、それをどういった発想に繋げるかと言うところで、先ほども言いましたが、青年会議所の皆さんのような中間にあたる世代の方には、子供たちが

高齢者へ、AIなどと言った最先端技術の知識を伝える媒体となっていたきたい、そう言った社会的な中で頑張り、期待したいと思っています。もちろんまつりなどのいろいろな伝統文化もあるわけですが、すべてを一から十まで出来ないわけですので、選択をしながらやっていただきたい。言葉では地域創生と言うが、実際にテレビや新聞などを見れば、グローバル化と言う事で、世間的にも都会中心の形が出来ているわけですが、地元的に浮いてしまっても駄目ですが、そう言ったものを自分たちに取り込んで栃尾版のイノベーションを起こさなければならぬと思います。

長岡でも4大学1高専になったりと、様々なことを言っていますが、栃尾版のイノベーションを起こすとなれば、民間のシンクタンク的な形の中で、皆さんに新人研究員としていろいろやっていただきたいと言うのも私の期待です。それと栃尾高校の将来像について青年会議所としての知見もよろしくお願いいたします。

松生..ありがとうございます。私たち40歳で卒業すると言う団体ではありますが、卒業するまでの最後の1日まで、残された時間を存分に使って様々なことを学び、それを社会貢献と言う形に繋げていきたいと考えています。先ほど西川さんもおっしゃれましたが、都会のやり方をそのまま持ってきて

役に立つかと言えば難しいわけですので、やはり「栃尾らしさ」と言う事を忘れずに、さらには子供たちだけでなく、幅広い年代の方々の役に立てるような活動が出来ればいいかと思っています。また先ほど西川さんがおっしゃった言葉の中で、私たちの活動の糧になるような言葉を非常にたくさん述べていただきましたので、メンバー全員でしっかりと共有しながら、今後の青年会議所活動を邁進させていただきます。また今後ともご注目をよろしく願いたします。

西川..大いに期待をしています。

松生..ありがとうございます。またお会いする機会があれば是非お話を聞かせていただければと思います。本日はありがとうございました。



委員会活動報告「遊雪まつり雪上そりレース」

喜び創造交流委員会委員長 平林 雄太

『第34回とちお遊雪まつり』におきまして、私たち栃尾青年会議所は、2月3日に道の駅R290とちお 雪の広場にて開催された『2019年とちお遊雪まつり雪上そりレース』決戦！栃尾城の戦い響け勝どきの声』を担当させて頂きました。当日は天候にも恵まれ、地域内外から132名という多くの皆様よりご参加を頂きました。

本年度のそりレースは栃尾ゆかりの戦国武将 上杉謙信公をテーマに掲げ、参加賞やレース内容を謙信公にちなんだものにする事で、栃尾の方には愛着を、地域外の方には興味を抱いていただけたら幸いです。

少雪による影響もありましたが、事故や怪我も無く本事業を行えたのもレース参加者をはじめ、協力して頂いた関係各諸団体、行政、個人、企業の皆様と栃尾青年会議所メンバーのおかげであり、感謝の気持ちでいっぱいです。



Forum21 合同例会参加報告

JC50周年特別事業委員会委員長 加藤 泰稔

去る3月15日、小千谷の地にてForum21合同例会並びに新潟ブロック協議会第4エリア会長公式訪問が開催され、松生理事長をはじめ、多くのメンバーと共に参加させて頂きました。(公社)日本青年会議所新潟ブロック協議会、天木会長より本年度の活動方針をご説明いただき、例会事業では、Forum21の原点とも言える『防災』につ

いて、理事長5名によるパネルディスカッションが行われ、それぞれの地域の取り組みや課題などを共有し、参加者全員が地域防災の重要性を再認識することができました。例会事業終了後の交流会では、壇上でのキャラバン活動とPRムービーの投影により、本年開催される(二社)栃尾青年会議所創立50周年事業を多くの皆様に告知するこ

栃尾・見附合同例会参加報告

事務局総務広報委員会 副委員長 今井 勝利

2019年4月15日(月)に割烹大覚様にて「栃尾・見附4月度合同例会」を開催致しました。4年間継続をしている合同例会を今年は栃尾に見附のメンバーを迎え、お互いのLOMの普段の例会スタイルを見ることが出来た貴重な経験をさせて頂きました。当日は3分間スピーチという事で、栃尾からは私、見附からは高野君

が意見を述べさせて頂きました。合同例会終了後は懇親会を開催致しまして、メンバー同士の交流を深めさせて頂きました。栃尾と見附の関係は隣接LOMという事もあり、近年ではお互いの事業にお手伝いとしてサポートしあう程、交流を図っております。引き続き、栃尾と見附の関係が良好である事を祈念申しあ

とができました。ご参加されましたメンバーの皆様により感謝申し上げます。



げ、報告とさせて頂きたく思います。有難う御座いました。



NBC会員交流雪合戦大会参加報告

喜び創造交流委員会 副委員長 大崎 陽平

2019年2月17日(日)、魚沼の地にて粉雪の舞い散る中、第1回NBC雪合戦大会に私と松生理理事長とで参加させて頂きました。大会は午前

5人で1チームなので、大將役を松生理理事長が務めることとなりました。

予選リーグを2戦し、午後からはその予選リーグを勝ったチームが決勝トーナメントに進むという方式でした。私たちは見附JCさんと合同で5人1チームを組み、大会に参加させて頂きました。

結果は、奮闘むなしく予選リーグで惨敗の2連敗でしたが、最後の戦いで大將である松生理理事長は勇猛果敢に敵陣に単騎掛けを行い立派に討ち死になされました。

また、この大会のチーム編成として足軽4人と大將1人の

来年、また参加できる機会をいただけた時には一死報えるよう頑張りたいと思います。

NBC会員交流ゴルフ大会参加報告

副理事長 浅野 宏文

5月18日、長岡カントリークラブで開催されました会員交流ゴルフ大会に参加させて頂きました。晴天にも恵まれ、スコアはいまひとつでしたが気持ち良くプレーすることができました。その様な中で他LOMの方々とゴルフを通じ交流を深めながら、

様々な意見交換などができました。共にプレーをしながら、同じ時間を共有することで他者がより身近になるといふのはスポーツの素晴らしい面だと思えます。大変有意義な時間を過ごすことができました。ありがとうございました。

新入会員紹介



斎藤 大

(有) 斎藤自動車工場の斎藤大と申します。この度、平林委員長、大竹副委員長からのお誘いを受けまして、2019年度より栃尾JCに加わらせてい

いただきました。弊社は、社名の通り自動車の販売、整備をしております。私は愛知の整備専門学校を卒業後、長岡の自動車ディーラーで5年の修行を経て9年前に実家の自動車工場へ入社いたしました。

出も多く、今大好きな栃尾で仕事が出来ることが喜びを感じています。そんな地元になしでも恩返しが出来ようJC活動を通して貢献していけたら嬉しく思います。ただ、私自身、経験不足で力足らずな所があります。まず先輩達を見本に出来る事から頑張つて行きたいと考えておりますので、どうぞよろしく願います。



追悼 矢澤志郎室長

2019年5月27日、不慮の事故によりご逝去されたとの一報を受け、メンバー一同突然の訃報に信じられない思いで言葉も出ませんでした。

矢澤室長は、2009年

のご入会以降、地域のために多大なるご尽力をいただき、2012年には栃尾青年会議所史上最大規模の事業となる「TOCHIROCK FESTIVAL2012」の実行委員長を務められ、常に最前線でご活躍されました。矢澤室長のご遺志を受け継ぎメンバー一同より一層邁進して行くとともにご生前のご功績を偲び、衷心よりご冥福をお祈り申し上げます。

ホームページブログFacebook, Twitter サイトの

いいね! フォロー のご協力をお願いします! 栃尾青年会議所

栃尾を元気にするために私たちと一緒に活動しませんか?

(一社) 栃尾青年会議所 新入会員募集

TEL 0258-52-4191 E-mail jc@tochio.net

第48回JCスクール 創立50周年記念講演会

人生一回
～格闘技から学んだこと～

元K-1世界王者

講 師

魔裟斗氏

- ◆日 時 2019年8月17日(土) 受付 13:00～14:00
講演 14:30～16:30 (予定)
- ◆会 場 栃尾市民会館(新潟県長岡市中央公園1-40)
- ◆入 場 料 無料、全席自由
- ◆定 員 600名[事前登録制(先着順)]
- ◆募集期間 2019年6月24日(月)～2019年8月5日(月)

受付にて登録証ご持参の参加者を優先的に会場へ誘導いたします。
空席のある場合は、当日登録の先着順に受付いたします。

応募方法

メールからの応募

名前、郵便番号、住所、年齢、電話番号を
入力の上 jc@tochio.net まで送信

QRコードからの応募

応募フォームより必要事項を入力



注意事項

- ・事前登録完了後、全員に参加登録証を発送いたします。
- ・当日までに募集定員に達しなかった場合、または参加予定者のキャンセルが出た場合その場で当日登録を募集いたします。
- ・全席自由席です。受付を済ませられた方よりご入場ください。
- ・当日の受付は会場入り口にて行いますので、登録証をお持ちの方は必ずご持参のうえ 13:00～14:00 の間に受付を済ませてください。
- ・当日は混雑が予想されますので、お早めにご来場ください。
- ・公演中の写真撮影、携帯電話等のご利用は一切禁止とさせていただきます。
- ・会場の駐車場に限りがございます。なるべくお乗り合わせいただくか、公共交通機関などをご利用ください。
- ・駐車場での事故、盗難などのトラブルは主催者側での責任は一切負いかねますのでご了承ください。

お問い合わせ

一般社団法人 栃尾青年会議所 TEL0258-52-4191

新潟県長岡市谷内2-5-9 栃尾秋葉門前商工プラザ2階 栃尾商工会内
対応時間:9:00～17:00(土・日・祝日を除く)

主 催

一般社団法人 栃尾青年会議所

後 援

栃尾青年会議所シニアクラブ・長岡市